

「第 11 回統計地震学ワークショップ」の報告

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門 楠城一嘉

地震予知部門で推進している、日本と世界の大地震発生予測の研究に関連した、統計地震学の国際ワークショップ「第 11 回統計地震学ワークショップ」(11th International Workshop on Statistical Seismology: StatSei11) を開催しました¹⁾。2年ごとに開催するこのワークショップを日本に誘致して運営する委員(LOC: Local Organizing Committee)となり、会議場のザ・プリンス 箱根芦ノ湖に国内外の研究者を招いて、4日間(8/18-21)の会議を行いました(図 1)。LOC は、楠城に加えて、東京大学・名古屋大学・統計数理研究所・ドイツ地球科学研究所の研究者からなる計 6 名のメンバーでした。

関連分野の研究者による最新の研究成果の講演がなされ(合計 118 件、そのうち、口頭講演は 42 件、ポスター講演は 76 件)、意見交換が活発になされました。また、本ワークショップで発表された講演の要旨集を発行できたことで、今後の統計地震学の研究に活用できることとなります。出席した研究者にとって有意義なワークショップであったと考えています。次回 StatSei12 は、2年後にフランスで開催されることになりました。

地震予知部門は、最新科学技術の知見を研究者間で共有できるようなワークショップ等を随時企画し、国内外の研究者と連携の輪を広げていく予定です。

リンク

¹⁾<http://www.eic.eri.u-tokyo.ac.jp/StatSei11/>



図 1. StatSei11 の参加者でグループ写真 (芦ノ湖の湖畔にて)